



策定の趣旨

本県は、古くから鉱物や森林、食料など、様々な資源に恵まれてきました。こうした資源の開発にたゆまぬ努力を続け、供給を行うことで、本県は、日本の近代化や戦後の復興、その後の高度経済成長を支える重要な役割を担い、屈指の「資源大国」としての地位を築き上げてきました。

しかしながら、資源の枯渇や海外産の安価な資源の流入等により、資源供給型の本県の産業基盤が弱体化したほか、大都市圏への若年層の流出と少子高齢化が急激に進行したため、本県は、長らく「全国最大の人口減少県」の地位に甘んじてきました。

近年、国際情勢の変化や気候変動に伴い、エネルギーや食料等の安全保障の重要性が増大する中、本県は、多様な再生可能エネルギー源や広大な農地などを生かし、日本の発展に大きく貢献することで、再び“存在感”を取り戻し、新時代を力強くリードすることのできる可能性に満ちあふれています。

本県が有する自然や文化、人材など有形無形の資源のポテンシャルを最大限に引き出し、大胆な発想と斬新な手法も積極的に取り入れながら、“秋田の再興”に向けた新たな一歩を踏み出し、持続可能な秋田づくりを進めていくため、「秋田県総合計画」(以下「計画」という。)を策定するものです。

計画の位置づけ

この計画は、県政運営の指針となる最上位計画であり、各分野の個別計画と一体となって効果的かつ効率的に取組を展開するために策定するものです。

なお、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地方版総合戦略としても位置づけるものです。

計画期間

2026年度から2029年度までの4年間とします。